

HORIE YUSEI

知られざる島根の絵師の物語

開館20周年記念展

堀江 友聲

ほりえゆうせい

京に挑んだ出雲の絵師

2019 4/24(水) - 6/3(月)

堀江友聲《牡丹に孔雀図》全図、《海家に蝶・菊に白鷺図》(部分)
《百花群鳥図》(部分)、《春秋花鳥図》(部分)、いずれも個人蔵
《朝雲に錦雞鳥・雪後に鶯鶯図》(部分)島根県立美術館蔵

島根県立美術館





堀江友聲《蛇に松図》個人蔵



堀江友聲《童子戯図》個人蔵



堀江友聲《龍図》常徳寺(京丹後市)蔵

友聲 第一



「堀江友聲」(一八〇二—一八七三)という

絵師の名は、全国ではほとんど知られていないでしょう。その一方で、島根県東部を中心とした一部の地域では、今日まで熱烈に愛好されてきました。こうした評価の違いが生じた要因の一つに、友聲画の優品の多くが主に個人の間で秘蔵されてきたことが挙げられます。とかく忘却の憂き目に逢いかねない地方絵師の存在は、独自の審美眼をもった地域の人々により、守り伝えられてきました。

そんな堀江友聲の回顧展としては三十六年ぶりとなる本展では、友聲が、諸国遊歴を経て京都の名門・海北家の養子となった青年期から、丹後国宮津で勇躍した壮年期、そして出雲国広瀬藩の御用絵師となった晩年期までの各期の代表作を一堂に展示します。友聲がこの地域で何を期待され、どのような戦略で生き抜き、そしてなぜその作品が愛されつづけたのか―地方画壇で確固たる地歩を固めた一人の絵師の実像に迫ります。



堀江友聲《四季草花図》島根県立古代出雲歴史博物館(出雲市)蔵



堀江友聲《富田城図》(部分) 城安寺(安来市)蔵



堀江友聲《百花群島図》手鏡記念館(出雲市)蔵



堀江友聲《揚柳観音像》個人蔵



堀江友聲《鶴図》個人蔵

近世島根を代表する絵師・堀江友聲の
三十六年ぶりとなる大回顧展

八十点を超す

代表作・新出作・資料の展示は、
過去最大規模です

友聲自筆の記録・画稿類から、
知られざる絵師・友聲の実像に迫ります

堀江友聲 享和二年（一八〇二）明治六年（一八七三）

出雲国大東（現在の雲南市大東町）に森山勇兵衛為春の第四子として生まれ、後に母方の堀江家を継ぐ。幼名は善三郎豊信、青年期に雲峯・盛伯と号し、京都で海北家の養子となった折に名を海北斎宮介精一、字を友聲とした。ほかに斧巖・豈楽斎・遷喬などと号す。

幼少より絵を描くことを好み、文化十四年（一八一七）に京都で山本探淵に師事。また四条派の柴田義重に私淑した。20代で伯耆、備後、美濃など諸国を遊歴し、萩の毛利家で多くの作品を描く。天保元年（一八三〇）、海北友徳の懇請を受けて海北家の養子となり、宮中・社寺の御用を勤めるが、翌年、養子縁組を解消され、出雲へ帰国した。天保七年（一八三六）からの数年を丹後国宮津で過ごし、宮津藩お抱えの話が挙がるほど当地で高い評価を得ている。嘉永五年（一八五二）に広瀬藩九代藩主・松平直諒の下で御用絵師となり、以降は広瀬を中心に活動した。

友聲は近世島根における数少ない職業画家であり、様々な筆法を駆使して多種多様な画題を手がけた。中でも膨大な数の写生を基にした、緻密な描写と鮮麗な色彩による花鳥画が名高い。横山雲南（後の黄仲祥）・上代英彦ら多くの門人を指導し、堀江家からは養子の友節（二代）以降も有聲（三代）・和聲（四代）と画家を輩出した。



堀江友聲《花鳥に雉図》(左隻) 個人蔵



堀江友聲《巴鶴図(「写生帳」)》個人蔵

関連イベント

連続「友聲」講座

聴講無料

演題1「入門編・堀江友聲ってどんな画家？」

日時／5月4日(土) 14時～(約90分)

内容／近世島根を代表する絵師・堀江友聲に関する基本講座です。

演題2「堀江友聲の写生帳」

日時／5月11日(土) 14時～(約90分)

内容／友聲が動植物を生彩にとらえた「写生」の世界を紹介します。

演題3「堀江友聲ー京に挑んだ出雲の絵師」

日時／6月2日(日) 14時～(約90分)

内容／友聲画にみられる京都画派からの影響を中心に、友聲が当地で果たした役割に迫ります。

※各回いずれも13時30分開場

場所は美術館ホール(190席・当日先着順)

講師は大森拓土(本展企画者／当館主任学芸員)

ギャラリートーク

(担当学芸員による作品解説) 要企画展観覧料

日時／4月27日(土)、5月18日(土) 各日14時

場所／企画展示室

掛軸の扱い方講座

参加無料

日時／5月6日(月・祝) ①10時30分 ②14時

(各回30分前開場／約60分)

内容／掛軸の扱い方や自宅での保管方法を解説します。虫干し前の参考にとどうぞ。

場所／美術館講義室(40席・当日先着順)

しほね家庭の日イベントデー

日時／5月19日(日) 10時～16時30分

内容／家族で来館された小中高生は無料で企画展をご覧いただける「しほね家庭の日」(毎月第3日曜日)に合わせて、館内各所でファミリー向けイベントを開催！
鉛筆工パフォーマンズや松江フオーゲルパークからのサブライズゲストが登場します。

開館時間

10時～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

休館日

火曜日(ただし4月30日は開館)

観覧料

「一般」

当日券 企画展1,000円(800円)円

企画・コレクション展セット1,150円(920円)円

前売券 企画・コレクション展セット900円

「大学生」

当日券 企画展600円(450円)円

企画・コレクション展セット700円(530円)円

「小中高生」

当日券 企画・コレクション展セット300円(250円)円

(一)内は20名以上の団体料金 ●小・中・高生の学校教育活動での観覧は無料 ●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料 ●前売券は、ロイヤル各店Lコード62169、セブンチケット、チケットぴあ窓口(Pコード7691620)、各プレイガイドにてお求めになれます

主催

島根県立美術館、TSK山陰中央テレビ

山陰中央新報社、SPSしほね

後援

安来市、安来市教育委員会、雲南市、雲南市教育委員会
朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局
産経新聞松江支局、中国新聞社、新日本海新聞社
島根日日新聞社、NHK松江放送局、BSS山陰放送
日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



・JR松江駅から徒歩約15分
・JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分
→「県立美術館前」下車
・観光ループバス(レイクライン)
→「県立美術館前」下車
・山陰道→松江西ランプ→車で約5分
国道9号袖交差点南進
(駐車場より地下道をご利用ください)
※3時間まで無料

交通案内
駐車場

かぞくの時間

こどもといっしょの鑑賞優先時間

毎週木曜日の午前中は「かぞくの時間」(こどもといっしょの鑑賞優先時間など)を実施しています。詳細は美術館HPでご確認ください。

次回企画展予告

小倉遊亀と院展の画家たち展

滋賀県立近代美術館所蔵作品による

6/28(金)～8/26(月)

島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>

beyond
2020